

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会の理解 I Understand society I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士養成課程必修科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	月～木の授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
個人、家族、地域とのつながりやかかわりを知り、自らの存在をみつめる。またサービス利用主体の生活や社会背景を理解し、サービス提供をする場合に必要な行政施策の仕組みやサービス利用にかかわる主な法制度体系について学ぶ。				
授業の目標				
①現代社会の現状と特徴を捉えることができる。 ②個人・家庭・地域・社会のつながり、集団や組織とのかかわりを確認することができる。 ③社会保障制度の構成を捉え、その役割や意義、仕組みについて説明することができる。				
授業の方法				
教科書と視聴覚教材、関連資料を使用した講義形式とするが、理解を深めるための演習（レポート作成やワークなど）を取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
介護福祉士として介護の仕事に携わる上で必要な基本的な社会の仕組みや制度について理解し、目の前にいる人や家族の生活と制度、その利用の意義について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の目的と学習成果、成績評価についての説明、諸注意等）			
第2回目	第1章 私たちの生活と社会福祉（第1節 生活の構造）			
第3回目	第1章 私たちの生活と社会福祉（第2節 家族とは）			
第4回目	第1章 私たちの生活と社会福祉（第3節 地域社会と個人） 課題1 「自分の住む町の人口と世帯数の変化」提出日：第5回			
第5回目	第1章 私たちの生活と社会福祉（第4節 人と社会、組織／第5節 現代におけるライフスタイルの変化）			
第6回目	第1章 私たちの生活と社会福祉（第6節 生活の支援と福祉の体系）			

第7回目	第2章 社会保障の仕組み（社会保障の基本的な考え方）	
第8回目	第2章 社会保障の仕組み（現代社会保障制度の体系）	
第9回目	第2章 社会保障の仕組み（年金）	
第10回目	第2章 社会保障の仕組み（医療保険、後期高齢者医療制度）	
第11回目	第2章 社会保障の仕組み（労働者関連の社会保険）	
第12回目	第2章 社会保障の仕組み（介護保険・各種社会扶助の概要）	
第13回目	社会保障制度と介護保険制度の今後の課題	
第14回目	まとめと試験	
第15回目	振り返り	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	以下の点で評価する。授業の準備を整え、遅刻早退なく出席している。講義・演習を問わず、授業に積極的な姿勢が見られること。
レポート	20%	課題レポート及び演習課題とその振り返りレポートを以下の内容で評価する。課題に積極的に取り組み、振り返りを通して、目的を捉えることができたかどうか。
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	○×形式、穴埋め式、用語説明、記述式等を用いて出題する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
「社会と制度の理解」新・介護福祉士養成講座2／中央法規		
履修上の留意点・ルール		
私語、携帯電話の使用を禁止します。授業に関係のないもの（携帯電話、飲食物、化粧品、手帳など）はかばんにしまうこと。配布資料のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合には、退出を求めることがあります。		